

人間国宝 田村耕一 生誕100年記念事業

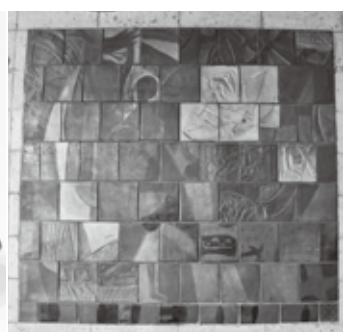


本市出身の陶芸家・田村耕一（1918年～1987年）の生誕100年を記念し、記念事業を開催します。

田村耕一は、東京美術学校（現東京藝術大学）図案部を卒業後、京都で富本憲吉氏の薫陶を受け、作陶を志しました。1953年に佐野市の自宅に登り窯を築き、本格的な作家活動に入りました。勢いのある筆描きで「鉄絵」の文様を表し、様々な技法を加えて、表現を豊かにした作品は高く評価をされ、日本を代表する陶芸家として活躍しました。

1986年には、「鉄絵」の技法が高く評価され、国の重要無形文化財保持者（人間国宝）の認定を受けましたが、翌1987年に、68歳で惜しまれつつ亡くなりました。

人間国宝田村耕一生誕100年記念事業では、各種記念事業の開催をとおして田村耕一の功績を振り返るとともに、田村陶芸の魅力を市内外に発信していきます。



左：《鉄釉流描梅文様楕円鉢》
てつゆうながしがきうめもんようだんぱち

東京国立近代美術館蔵
(吉澤記念美術館で展示)

中：《家族のために作った指輪》
(陶芸館で展示中)

右：《旧佐野市役所陶壁》
昭和37年作
(市役所1階で展示予定)

●おもな展覧会・催し物

	名称	会場	会期・日時	説明	備考
展覧会など	①記念企画展 「田村耕一の素顔」	人間国宝 田村耕一陶芸館	12月16日(日) まで	市所蔵の名品とともに、地域におけるデザインの仕事、家族のための小品などを紹介	入館無料 会期中無休
	②特別企画展 「生誕100年 田村耕一展」	吉澤記念美術館	10月20日(土)～ 12月9日(日)	東京国立近代美術館所蔵の里帰りの作品を中心に、田村の創造の秘密に迫る初公開資料も展示	観覧料：510 円ほか、月曜休
	③佐野市役所旧庁 舎陶壁復元プロ ジェクト	佐野市紹介 スペース (市役所1階)	11月1日(木) 午後4時30分～ 12月2日(日)	田村耕一の最初の陶壁「伸びゆく佐野」の復元展示	入場無料、 会期中無休
催し物	④記念講演会・ シンポジウム	文化会館 小ホール	11月3日(祝・土) 午後1時30分～ 3時30分	講演会：青木宏さん(工芸史家) シンポジウム：島田文雄さん(東京藝術大学名誉教授)、小林建夫さん(現代工芸藤野屋代表)、田村田さん(田村耕一嫡孫・佐野日本大学短期大学特任准教授)	参加無料、 定員300人、 申込受付中
	⑤陶芸体験教室 「田村耕一の鉄絵 を学ぶ」	吉澤記念美術館	11月10日(土) 午後1時～4時	講師：迎泰夫さん(陶芸家)	材料費、 定員先着20人
	⑥記念ギャラリー トーク(オカリナコン サートを同時開催)	吉澤記念美術館	12月1日(土) 午後1時15分～ 3時	講師：佐伯守美さん(陶芸家) オカリナ愛好会・田沼	参加無料(展覧 会観覧は有料)、 定員先着70人

記念スタンプラリーも実施します！ 10月20日(土)～12月16日(日)陶芸館・吉澤記念美術館・東石美術館・市役所にて

■問合せ＝①③④陶芸館☎(22)0311、②⑤⑥吉澤記念美術館☎(86)2008



行政改革による財政効果をお知らせします

■問合せ＝行政経営課 ☎(20)3005

市では、「第3次佐野市行政改革大綱」に基づき、「効率的な行政経営の推進と質の高いサービスの提供」「市民との協働によるまちづくりの推進」「持続可能な財政運営の推進」「職員の育成と適正な人事管理」を基本方針とする行政改革に取り組みました。

平成29年度の行政改革による財政効果額についてまとめましたのでお知らせします。

平成29年度 財政効果額 5億8,733万9千円

主な内訳は次のとおりです。(財政効果 = 歳出削減 + 歳入確保)

歳出削減 3億2,448万4千円	物件費	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度による効果 スクールバス運行事業の全面委託 農業集落排水の統合 公共工事のコスト縮減 道路舗装などの共同工事による経費削減 節電対策の推進
歳入確保 2億6,285万5千円	市税収納対策	・市税の収納対策による歳入確保
	公有財産売払	・市有財産の有効活用

平成30年度から平成33(2021)年度までに、本市の行政改革の指針である「第4次佐野市行政改革大綱」の具体的な項目を推進するための実施計画に沿った財政効果目標についてお知らせします。

●歳出削減

実施計画改革改善内容	歳出削減目標額 (千円)				
	平成30年度	平成31 (2019)年度	平成32 (2020)年度	平成33 (2021)年度	計
ファイリングシステムの維持管理	-	1,500	1,500	1,500	4,500
ごみ収集委託の拡大	-	-	-	7,356	7,356
市有施設の計画的な見直し	1,756,000	1,021,000	1,021,000	1,021,000	4,819,000
農業集落排水の公共下水道への統合	-	-	13,367	13,367	26,734
道路占用者との共同工事	50,000	50,000	50,000	50,000	200,000
長時間労働の是正	4,742	7,818	10,863	13,877	37,300
各団体等に対する支援の適正化	605,460	610,435	669,272	669,272	2,554,439
目標額計	2,416,202	1,690,753	1,766,002	1,776,372	7,649,329

●歳入確保

実施計画改革改善内容	歳入確保目標額 (千円)				
	平成30年度	平成31 (2019)年度	平成32 (2020)年度	平成33 (2021)年度	計
ふるさと納税制度の促進	50,000	100,000	150,000	200,000	500,000
市有財産の有効活用	150,000	150,000	150,000	150,000	600,000
市税等収納対策の推進	200,000	200,000	200,000	200,000	800,000
税外収入の未収金縮減	4,086	3,900	3,768	3,706	15,460
下水道使用料の見直し	-	68,000	156,000	156,000	380,000
目標額計	404,086	521,900	659,768	709,706	2,295,460

